

# 夏救急服仕様書

この仕様書は、広島市消防局（以下「当局」という。）が発注する夏救急服について定める。

## 総則

- 1 受注者は、契約後すみやかに製作工程表を当局に提示し、承認を受けること。
- 2 受注者は、生地見本及び当局指定の品質証明書を当局に提示し、承認を受けること。
- 3 量産にかかる前に製作見本を当局に提出し、承認を受けること。その際、手直しが必要な場合は、指定日時までに手直しを行い、再度当局の承認を受けること。
- 4 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズ等が容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- 5 当救急服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- 6 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- 7 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また、仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- 8 納入業者は納入時に、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- 9 この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- 10 採寸については、本仕様書に記載のサイズ規格表に基づいた採寸用試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。また当該サイズ規格表に該当しない者については、別寸対応とする。

11 落札業者は、落札後速やかに紡績メーカーが発行する「原反出荷引受並びに品質証明書」を提出すること。

12 品名及び数量

夏救急服 上衣（長袖） 70着

夏救急服 上衣（半袖） 4着

夏救急服 下衣 70着

※ 受注者は、契約後直ちに担当課（消防局職員課 TEL082-546-3427 担当：隅田）からサイズ別数量及び個人名について指示に従うこと。

13 納入期限

令和8年2月20日（金）

14 納品場所 中消防署警防課ほか7署

(1) 中消防署警防課（広島市中区大手町五丁目20番12号）

(2) 東消防署警防課（広島市東区光町二丁目12番6号）

(3) 南消防署警防課（広島市南区的場町二丁目5番14号）

(4) 西消防署警防課（広島市西区都町43番10号）

(5) 安佐南消防署警防課（広島市安佐南区緑井一丁目10番3号）

(6) 安佐北消防署警防課（広島市安佐北区可部南四丁目26番13号）

(7) 安芸消防署警防課（安芸郡海田町堀川町3番12号）

(8) 佐伯消防署警防課（広島市佐伯区五日市中央七丁目25番18号）

※ 落札業者は担当課と協議の上、納品に対応すること。

## 仕様

### 1 形式（立体裁断型）

#### (1) 上衣（長袖および半袖）

カッター衿型、肩章付き、背タックなし、前立比翼ファスナー式（面ファスナー4ヶ所止め）、袖口水かき布付きファスナー式（長袖）、左右胸ポケット雨蓋付き、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、反射肩章カバー付き、左袖ペンライト入れ付き（長袖）、指定型エンブレム台座付き、階級章台座付き、名札用台座付き

#### (2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、内股部三角形型ハギ入り（伸縮機能付き）、内股シック補強（4ヶ所止め）、ベルトループ7本付き、左右後インダーツ式貼りポケット、裾ミシンタタキ仕上げ。

### 2 主材料

#### (1) 上衣

##### 【承認品番】

長袖	株式会社マナユニット	MU3110SRL
	株式会社関東小池	KK-SQN1190
半袖	株式会社マナユニット	MU3110SRS
	株式会社関東小池	KK-SQH1190

※ 上記承認品番と同等以上のものであり、かつ本仕様を満たす製品である場合は、カタログ等を提出して当局の承認を得ること。

##### 【使用生地】

ア 素材	: 帝人株式会社	R79813	エスタミド®レーヨン混トロピカル
イ 混紡率	: メタ型アラミド	50%	
	パラ型アラミド	2%	
	ポリエステル	24%	
	難燃レーヨン	24%	

ウ 色相 : GR7（当局指定色）

参考色相数値 色相(H) 5.9GY

明度(V) 5.9

彩度(C) 1.1

※ 試験機 日立 UH3900S 視野 10° 光源 D65

4枚重ねにて測定

※ 測定方法 JIS Z 8721

エ 性能 : 難燃性能・制電性能・制菌性能(特定用途)

その他詳細性能については、別紙、7生地規格、(1)上衣用素材を参照

オ 面ファスナー：ループ面の色相は表地同系色とする。

(2) 下衣

【承認品番】

株式会社マナユニット MU3210SR

株式会社関東小池 KK-SQZ1190

※ 上記承認品番と同等以上のものであり、かつ本仕様を満たす製品である場合は、カタログ等を提出して当局の承認を得ること。

【使用生地】

ア 素材：帝人株式会社 R70150 エスタミド®レーヨン混トロピカル

イ 混紡率：メタ型アラミド 50%

パラ型アラミド 2%

ポリエステル 24%

難燃レーヨン 24%

ウ 色相：BL1（当局指定色）

参考色相数値 色相(H)4.4GY

明度(V)4.2

彩度(C)1.0

※ 試験機 日立 UH3900S 視野 10° 光源 D65  
4枚重ねにて測定

※ 測定方法 JIS Z 8721

エ 性能：難燃性能・制電性能・制菌性能(特定用途)

その他詳細性能については、別紙、7 参考生地規格、(2) 下衣用素材を参照

3 縫製条件

(1) 針数

3 cm間で地縫い及び飾り縫いは12針程度、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。肩章、襟台はヨコとする。

(3) 釦付

機械付又は手付とする。

手付は2本の糸を1個の穴に3~4回通し根巻は3回以上とし、糸止めは完全にすること。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ、タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

4 縫製要領

(1) 上衣

ア 主襟

テトロン芯を入れ、襟巾は中央で4.5cm（襟合巾3.5cm）襟先巾は約6.7cmとする。

イ 比翼巾

上前部は巾 3.8 cmとし、下前部は巾 3.5 cmにて折り返し、襟台から裾までステッチミシンをかける。

ウ 襟吊

襟吊は所定のものを襟付中央に、はさみ縫いをする。

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2ヶ所で雨蓋付きとする。雨蓋にはテトロン芯を入れる。

雨蓋は中央部で高さ約6.5cm（端部で高さ約5.0cm）横は約14.0cm、胸ポケットは横巾約13.5cm、深さ約15.5cm、インダーツ仕様とする。雨蓋は面ファスナー止め（2.0cm×5.0cm）とする。

オ ペン差し

左胸ポケット雨蓋の中心部から約 3.5 cm内側に入った所に巾約 3.5 cmのペン差しを設け、左胸ポケットにも内側より口巾約 3.5 cmのペン差し込口を設ける。

カ ペンライト差し

長袖は、左袖に袖付けより約 9.0 cm下がった位置に、横巾約 4.0 cm、長さ約 15.0 cmのペンライト差しを縫い付ける。半袖はペンライト差し不要とする。

キ 指定型エンブレム台座

長袖は、左袖ペンライト差しの右隣に縦 2.0 cm×横 8.0 cmの面ファスナー（ループ面）を指定型エンブレム台座として縫い付ける。ペンライト差しの右上端と指定型エンブレム台座の左下端が接する位置に縫い付ける。

半袖も、長袖同寸法（縦 2.0 cm×横 8.0 cm）面ファスナー（ループ面）を指定型エンブレム台座として縫い付ける。縫付位置は、肩章付け値の中心部より 6 cm下がった位置がエンブレム台座の中心になるように縫い付ける。

ク 前立て

前立ては比翼式ファスナーとし、比翼は面ファスナーで4ヶ所止めとする。

ケ 背ヨーク

背ヨークは一枚仕立のV型ヨークとし、ヨーク巾は中央で約 25.0 cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

コ 肩縫い

片倒しステッチ縫製とする。

サ 脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕・肩の活動域を広げ、活動時において裾がズボンからはみ出す等の服装の乱れが起こりにくい構造とする。

シ 背タック

背中にはタックは入れないこと。

ス ベンチレーション

蒸れ解消のため脇下部に合わせ布式のベンチレーション機能を設ける。

セ 袖

長袖及び半袖の2枚袖とし、後袖切替え線は肩袖側に片倒しをする。  
脇袖切替えは前袖後袖側へ片倒しをする。

ソ 袖付け縫い

本縫いし更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）。

タ 袖口

【長袖】

カフス付きとし、水かき布付きのファスナー開閉式仕様とする。水かき布はカフス付け根までとする。ファスナーの縫い付けについては、ファスナーのムシが見えないように縫製すること。また袖口周囲寸法については、事前に担当者の承認を得ることとする。

【半袖】

袖口は表額付き仕様とする。表額の折り返し巾は約4.0cmとし、ステッチミシンをかける。

チ 片布・品質表示

所定のものを左胸ポケットの裏面中央に縫い付け、その下に品質表示を縫い付ける。

ツ サイズネーム

衿付中央の下縁に、はさみ縫いをする。

テ 階級章台座

右胸ポケット上部中央から中央上部約1.5cmの位置に、縦2.5cm×横4.0cmの面ファスナー（ループ面）を縫い付ける。

ト 肩章

巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫い込みクロスステッチはしないこと。  
肩章の先は襟付根部から1.5cm下がった位置とする。

ナ 裾折り返し

裾は三ツ巻き縫いとする。

ニ 替襟装着用釦

台襟内側には、直径約10mmの4ツ穴ポリ釦を5ヶ所付け、替襟が装着できる仕様とする。

ヌ 肩章カバー

表地に反射布、裏地には同系色の生地を使用した筒状の肩章カバーを、左右各1個を1組として1着につき付属同梱して納品すること。肩章カバーの出来上がり寸法は約5.5cm×10.0cmとする。

ネ 名札台座

左胸ポケット上部中央から約1.5cmの位置に、縦3.5cm×横8.0cmの面ファスナー（ループ面）を縫い付ける。

ノ 前立て合わせ

男女共通の左上前合わせとする。

## (2) 下衣

### ア 前タック

左上前ファスナー開き、左右のウエストにワンタックを取り、脇側（外向き）に片倒しをする。

### イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 3.5 cm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

### ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さは約 16.0 cm とし、口の上下端には閉止めを施す。ポケット口には 0.6 cm 巾にステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。

### エ 後・尻合わせ

後中心の尻縫いは片倒しし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。

脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、強度確保のため、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

### オ 後ポケット

左右後に口幅 16.5 cm、深さ 18.0 cm のインダーツ式貼りポケットを左右各 1 個設ける。

口の両端は閉止めをする。裁ち目は 2 つ折り縫い又はオーバーロックかがりとする。

口中・向う布の両端は袋の飾り縫いで縫い込むこと。

### カ ベルトループ

ベルト通し巾約 5.5 cm、横巾 2.5 cm のベルトループを両脇に各 2 本と、通し巾 5.5 cm、横巾 5.0 cm のホームベース型のベルトループを、左右の前タック位置及び後ろ中心の 3 本とし、合計 7 本仕様とする。ループ幅の両端はコバステッチをかける。取り付け方法はマーベルト上部に付け、長さ 5.0 cm のループ内側を地縫いし、ループ下部はベルト下に挟むこと。

### キ 股シック補強

棒シック補強に加え、内股クロス十字部に菱形の股シック布を 4 ヶ所に縫い止める。

### ク 裾始末

個人別対応とし、靴擦れ付きのミシンタタキ仕上げとする。

### ケ 脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

### コ 内股補強

縫い割りし、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、股割動作に対する突っ張りを緩和する伸縮構造を用いること。

サ ひざ当て

夏用は裏地を縫い付けない。

シ サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

ス 片布

左脇ポケット袋布に縫い付ける。

セ 天狗鼻

下前裏側に天狗鼻を装着する。

ソ 前立て合わせ

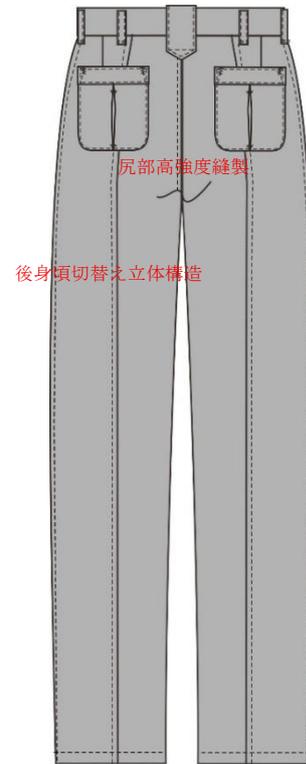
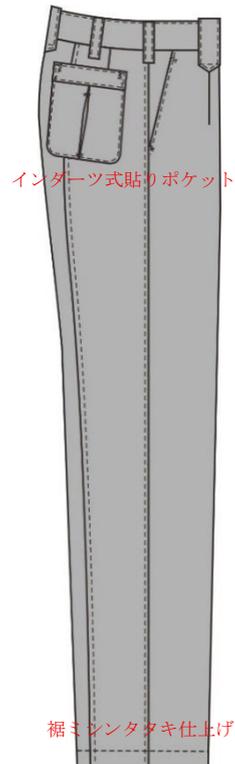
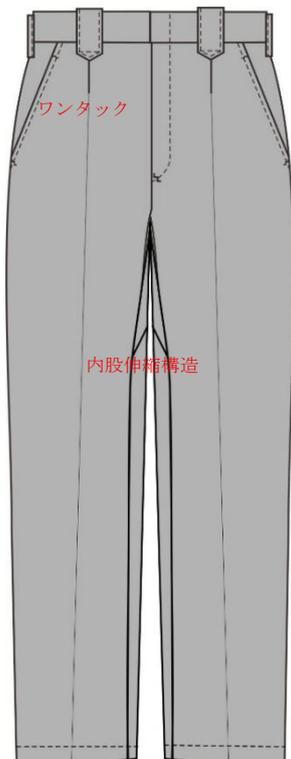
男女共通の左上前合わせとする。

## 5 参考仕様図面

### 【長袖】



### 【半袖】



6 サイズ規格表

救急服（長袖）上衣サイズ規格表

（出来上がり寸法 単位：cm）

	胸 囲	着 丈	肩 巾	長袖丈	カラー	袖口周囲
000号	95	72	42	53	40	20
00号	100	72	43	53	40	20
0号	105	72	44	54	40	21
1号	110	75	46	56	40	22
2号	115	78	48	58	41	23
3号	119	81	49	60	42	24
4号	119	75	49	55	43	24
5号	125	78	51	57	45	24
6号	129	81	53	59	46	25

※男女統一規格とする。

※袖丈：基本サイズ規格通りとするが±3cm単位で調整可能とする。（±6cmまで）

救急服（半袖）上衣サイズ規格表

（出来上がり寸法 単位：cm）

	胸 囲	着 丈	肩 巾	半袖丈	カラー	袖口周囲
000号	95	72	42	19	40	29.5
00号	100	72	43	20	40	31
0号	105	72	44	21	40	32.5
1号	110	75	46	22	40	34
2号	115	78	48	23	41	35.5
3号	119	81	49	24	42	37
4号	119	75	49	22	43	39
5号	125	78	51	23	45	41
6号	129	81	53	24	46	43

※男女統一規格とする。

※袖丈修正は対応無しとする。

## 救急服下衣サイズ規格表

(出来上がり寸法 単位：cm)

部 位 サ イ ズ	ウ エ ス ト	ヒ ッ プ	股 下
000号	64	97	個人別採寸
00号	67	100	〃
0号	70	102	〃
1号	73	102	〃
2号	76	102	〃
3号	79	104	〃
4号	82	106	〃
5号	85	108	〃
6号	88	110	〃
7号	91	113	〃
8号	95	117	〃
9号	100	119	〃
10号	105	123	〃

※男女統一規格とする。

※股下寸法については、採寸ゲージより±2cm単位で調整対応とする。

## 7 生地規格

## (1) 上衣用素材

素 材	帝人株式会社R 7 9 8 1 3 エスタミド®レーヨン混トロピカル
色 相	当局指定色
混 紡 率	メタ型アラミド 50% パラ型アラミド 2% ポリエステル 24% 難燃レーヨン 24%
番 手	タテ、ヨコ共 40番手双糸 (E. C. C換算)
組 織	1/1 平織
仕 上	標準 150cm X 50m 乱 (幅は片耳落とし)
密 度	タテ 68本以上 (2.54cm間) ヨコ 55本以上 (2.54cm間)
引張強力	タテ 750N以上 (JIS L 1096 A法) ヨコ 580N以上 (JIS L 1096 A法)
引裂強力	タテ 25N以上 (JIS L 1096 D法) ヨコ 20N以上 (JIS L 1096 D法)
重 量	160 ± 10 g/m <sup>2</sup>
染色堅牢度	洗濯 (変) 4級以上 (JIS L 0844 A-2法) (汚) 4級以上 (JIS L 0844 A-2法) 汗変退色 4級以上 (JIS L 0848 A法) 摩擦 (乾) 4級以上 (JIS L 0849 II形法)
寸法変化率	タテ、ヨコ共 ±3%以内 (JIS L 1096 G法)
燃焼性	残炎時間 1.0秒以下 (JIS L 1091 A-4法) 余じん時間 1.0秒以下 (JIS L 1091 A-4法) 炭化距離 12.0cm以下 (JIS L 1091 A-4法)
制菌性能	殺菌活性値 0.0以上 (SEK統一試験:洗濯回数50回)
制電性	7μC以下 (JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)

## (2) 下衣用素材

素 材	帝人株式会社R70150エスタミド®レーヨン混トロピカル
色 相	当局指定色
混 紡 率	メタ型アラミド 50% パラ型アラミド 2% ポリエステル 24% 難燃レーヨン 24%
番 手	タテ 30番手と40番手の交撚糸 (E. C. C換算) ヨコ 30番手双糸 (E. C. C換算)
組 織	1/1 平織
仕 上	標準 150cm X 50m 乱 (幅は片耳落とし)
密 度	タテ 54本以上 (2.54cm間) ヨコ 44本以上 (2.54cm間)
引張強力	タテ 750N以上 (JIS L 1096 A法) ヨコ 700N以上 (JIS L 1096 A法)
引裂強力	タテ 30N以上 (JIS L 1096 D法) ヨコ 30N以上 (JIS L 1096 D法)
重 量	150 ± 10 g/m <sup>2</sup>
染色堅牢度	洗濯 (変) 4級以上 (JIS L 0844 A-2法) (汚) 4級以上 (JIS L 0844 A-2法) 汗変退色 4級以上 (JIS L 0848 A法) 摩擦 (乾) 4級以上 (JIS L 0849 II形法)
寸法変化率	タテ、ヨコ共 ±3%以内 (JIS L 1096 G法)
燃焼性	残炎時間 1秒以下 (JIS L 1091 A-4法) 余じん時間 1秒以下 (JIS L 1091 A-4法) 炭化距離 12cm以下 (JIS L 1091 A-4法)
制菌性能	殺菌活性値 0.0以上 (SEK統一試験:洗濯回数50回)
制電性	7μC以下 (JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)

# 冬救急服仕様書

この仕様書は、広島市消防局（以下「当局」という。）が発注する冬救急服について定める。

## 総則

- 1 受注者は、契約後すみやかに製作工程表を当局に提示し、承認を受けること。
- 2 受注者は、生地見本及び当局指定の品質証明書を当局に提示し、承認を受けること。
- 3 量産にかかる前に製作見本を当局に提出し、承認を受けること。その際、手直しが必要な場合は、指定日時までに手直しを行い、再度当局の承認を受けること。
- 4 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズ等が容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- 5 当救急服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- 6 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- 7 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また、仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- 8 納入業者は納入時に、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- 9 この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- 10 採寸については、本仕様書に記載のサイズ規格表に基づいた採寸用試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。また当該サイズ規格表に該当しない者については、別寸対応とする。

11 落札業者は、落札後速やかに紡績メーカーが発行する「原反出荷引受並びに品質証明書」を提出すること。

12 品名及び数量

冬救急服 上衣 65着

冬救急服 下衣 65着

※ 受注者は、契約後直ちに担当課（消防局職員課 TEL082-546-3427 担当：隅田）からサイズ別数量及び個人名について指示に従うこと。

13 納入期限

令和8年2月20日（金）

14 納品場所 中消防署警防課ほか7署

(1) 中消防署警防課（広島市中区大手町五丁目20番12号）

(2) 東消防署警防課（広島市東区光町二丁目12番6号）

(3) 南消防署警防課（広島市南区的場町二丁目5番14号）

(4) 西消防署警防課（広島市西区都町43番10号）

(5) 安佐南消防署警防課（広島市安佐南区緑井一丁目10番3号）

(6) 安佐北消防署警防課（広島市安佐北区可部南四丁目26番13号）

(7) 安芸消防署警防課（安芸郡海田町堀川町3番12号）

(8) 佐伯消防署警防課（広島市佐伯区五日市中央七丁目25番18号）

※ 落札業者は担当課と協議の上、納品に対応すること。

## 仕様

### 1 形式（立体裁断型）

#### (1) 上衣

カッター襟型、肩章付き、背タックなし、前立比翼ファスナー式（面ファスナー4ヶ所止め）、袖口水かき布付きファスナー式、左右胸ポケット雨蓋付き、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、反射肩章カバー付き、左袖ペンライト入れ付き、指定型エンブレム台座付き、階級章台座付き、名札用台座付き

#### (2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、内股部三角形型ハギ入り（伸縮機能付き）、内股シック補強（4ヶ所止め）、ベルトループ7本付き、左右後インダーツ式貼りポケット、裾ミシンタタキ仕上げ

### 2 主材料

#### (1) 上衣

##### 【承認品番】

株式会社マナユニット MU3110WR

株式会社関東小池 KK-WQN2190

※ 上記承認品番と同等以上のものであり、かつ本仕様を満たす製品である場合は、カタログ等を提出して当局の承認を得ること。

##### 【使用生地】

ア 素材 : 帝人株式会社 R79613 エスタミド®レーヨン混ピッケ

イ 混紡率 : メタ型アラミド 50%

パラ型アラミド 2%

ポリエステル 24%

難燃レーヨン 24%

ウ 色相 : GR7（当局指定色）

参考色相数値 色相(H)2.5GY

明度(V)5.8

彩度(C)1.0

※ 試験機 日立 UH3900S 視野 10° 光源 D65

4枚重ねにて測定

※ 測定方法 JIS Z 8721

エ 性能 : 難燃性能・制電性能・制菌性能(特定用途)

その他詳細性能については、別紙、7生地規格、(1)上衣用素材を参照

オ 面ファスナー : ループ面の色相は表地同系色とする。

(2) 下衣

【承認品番】

株式会社マナユニット MU 3 2 1 0 WR

株式会社関東小池 KK-WQ Z 2 1 9 0

※ 上記承認品番と同等以上のものであり、かつ本仕様を満たす製品である場合は、カタログ等を提出して当局の承認を得ること。

【使用生地】

ア 素材 : 帝人株式会社 R 7 0 4 5 0 エスタミド®レーヨン混サキソニー

イ 混紡率 : メタ型アラミド 5 0 %

パラ型アラミド 2 %

ポリエステル 2 4 %

難燃レーヨン 2 4 %

ウ 色相 : B L 1 (当局指定色)

参考色相数値 色相(H) 6.2GY

明度(V) 4.5

彩度(C) 0.9

※ 試験機 日立 UH3900S 視野 10° 光源 D65  
4 枚重ねにて測定

※ 測定方法 JIS Z 8721

エ 性能 : 難燃性能・制電性能・制菌性能(特定用途)

その他詳細性能については、別紙、7 参考生地規格、(2) 下衣用素材を参照

3 縫製条件

(1) 針数

3 cm間で地縫い及び飾り縫いは12針程度、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。肩章、襟台はヨコとする。

(3) 釦付

機械付又は手付とする。

手付は2本の糸を1個の穴に3~4回通し根巻は3回以上とし、糸止めは完全にすること。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ、タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

4 縫製要領

(1) 上衣

ア 主襟

テトロン芯を入れ、襟巾は中央で4.5cm (襟合巾3.5cm) 襟先巾は約6.7cmとする。

イ 比翼巾

上前部は巾 3.8 cmとし、下前部は巾 3.5 cmにて折り返し、襟台から裾までステッチミシンをかける。

ウ 襟吊

襟吊は所定のものを襟付中央に、はさみ縫いをする。

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2ヶ所で雨蓋付きとする。雨蓋にはテトロン芯を入れる。

雨蓋は中央部で高さ約6.5cm（端部で高さ約5.0cm）横は約14.0cm、胸ポケットは横巾約13.5cm、深さ約15.5cm、インダーツ仕様とする。雨蓋は面ファスナー止め（2.0cm×5.0cm）とする。

オ ペン差し

左胸ポケット雨蓋の中心部から約 3.5 cm内側に入った所に巾約 3.5 cmのペン差しを設け、左胸ポケットにも内側より口巾約 3.5 cmのペン差込口を設ける。

カ ペンライト差し

左袖に袖付けより約 9.0 cm下がった位置に、横巾約 4.0 cm、長さ約 15.0 cmのペンライト差しを縫い付ける。

キ 指定型エンブレム台座

左袖ペンライト差しの右隣に縦 2.0 cm×横 8.0 cmの面ファスナー（ループ面）を指定型エンブレム台座として縫い付ける。ペンライト差しの右上端と指定型エンブレム台座の左下端が接する位置に縫い付ける。

ク 前立て

前立ては比翼式ファスナーとし、比翼は面ファスナーで4ヶ所止めとする。

ケ 背ヨーク

背ヨークは一枚仕立のV型ヨークとし、ヨーク巾は中央で約 25.0 cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

コ 肩縫い

片倒しステッチ縫製とする。

サ 脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕・肩の活動域を広げ、活動時において裾がズボンからはみ出す等の服装の乱れが起こりにくい構造とする。

シ 背タック

背中にはタックは入れないこと。

ス ベンチレーション

蒸れ解消のため脇下部に合わせ布式のベンチレーション機能を設ける。

セ 袖

長袖の2枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをする。

脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをする。

ソ 袖付け縫い

本縫いし更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）。

タ 袖口

カフス付きとし、水かき布付きのファスナー開閉式仕様とする。水かき布はカフス付け根までとする。ファスナーの縫い付けについては、ファスナーのムシが見えないように縫製すること。また袖口周囲寸法については、事前に担当者の承認を得ることとする。

チ 片布・品質表示

所定のものを左胸ポケットの裏面中央に縫い付け、その下に品質表示を縫い付ける。

ツ サイズネーム

衿付中央の下縁に、はさみ縫いをする。

テ 階級章台座

右胸ポケット上部中央から中央上部約1.5cmの位置に、縦2.5cm×横4.0cmの面ファスナー（ループ面）を縫い付ける。

ト 肩章

巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫い込みクロスステッチはしないこと。肩章の先は襟付根部から1.5cm下がった位置とする。

ナ 裾折り返し

裾は三ッ巻き縫いとする。

ニ 替襟装着用釦

台襟内側には、直径約10mmの4ツ穴ポリ釦を5ヶ所付け、替襟が装着できる仕様とする。

ヌ 肩章カバー

表地に反射布、裏地には同系色の生地を使用した筒状の肩章カバーを、左右各1個を1組として1着につき付属同梱して納品すること。肩章カバーの出来上がり寸法は5.5cm×10.0cmとする。

ネ 名札台座

左胸ポケット上部中央から約1.5cmの位置に、縦3.5cm×横8.0cmの面ファスナー（ループ面）を縫い付ける。

ノ 前立て合わせ

男女共通の左上前合わせとする。

(2) 下衣

ア 前タック

左上前ファスナー開き、左右のウエストにワンタックを取り、脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約3.5cm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファ

スナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

#### ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さは約16.0cmとし、口の上下端には閉止めを施す。ポケット口には0.6cm巾にステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。

#### エ 後・尻合わせ

後中心の尻縫いは片倒しし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。

脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、強度確保のため、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

#### オ 後ポケット

左右後に口幅16.5cm、深さ18.0cmのインダーツ式貼りポケットを左右各1個設ける。

口の両端は閉止めをする。裁ち目は2つ折り縫い又はオーバーロックかがりとする。

口中・向う布の両端は袋の飾り縫いで縫い込むこと。

#### カ ベルトループ

ベルト通し巾約5.5cm、横巾2.5cmのベルトループを両脇に各2本と、通し巾5.5cm、横巾5.0cmのホームベース型のベルトループを、左右の前タック位置及び後ろ中心の3本とし、合計7本仕様とする。ループ幅の両端はコバステッチをかける。取り付け方法はマーベルト上部に付け、長さ5.0cmのループ内側を地縫いし、ループ下部はベルト下に挟むこと。

#### キ 股シック補強

棒シック補強に加え、内股クロス十字部に菱形の股シック布を4ヶ所に縫い止める。

#### ク 裾始末

個人別対応とし、靴擦れ付きのミシンタタキ仕上げとする。

#### ケ 脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

#### コ 内股補強

縫い割りし、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、股割動作に対する突っ張りを緩和する伸縮構造を用いること。

#### サ ひざ当て

冬用は裏地を縫い付ける。

#### シ サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

#### ス 片布

左脇ポケット袋布に縫い付ける。

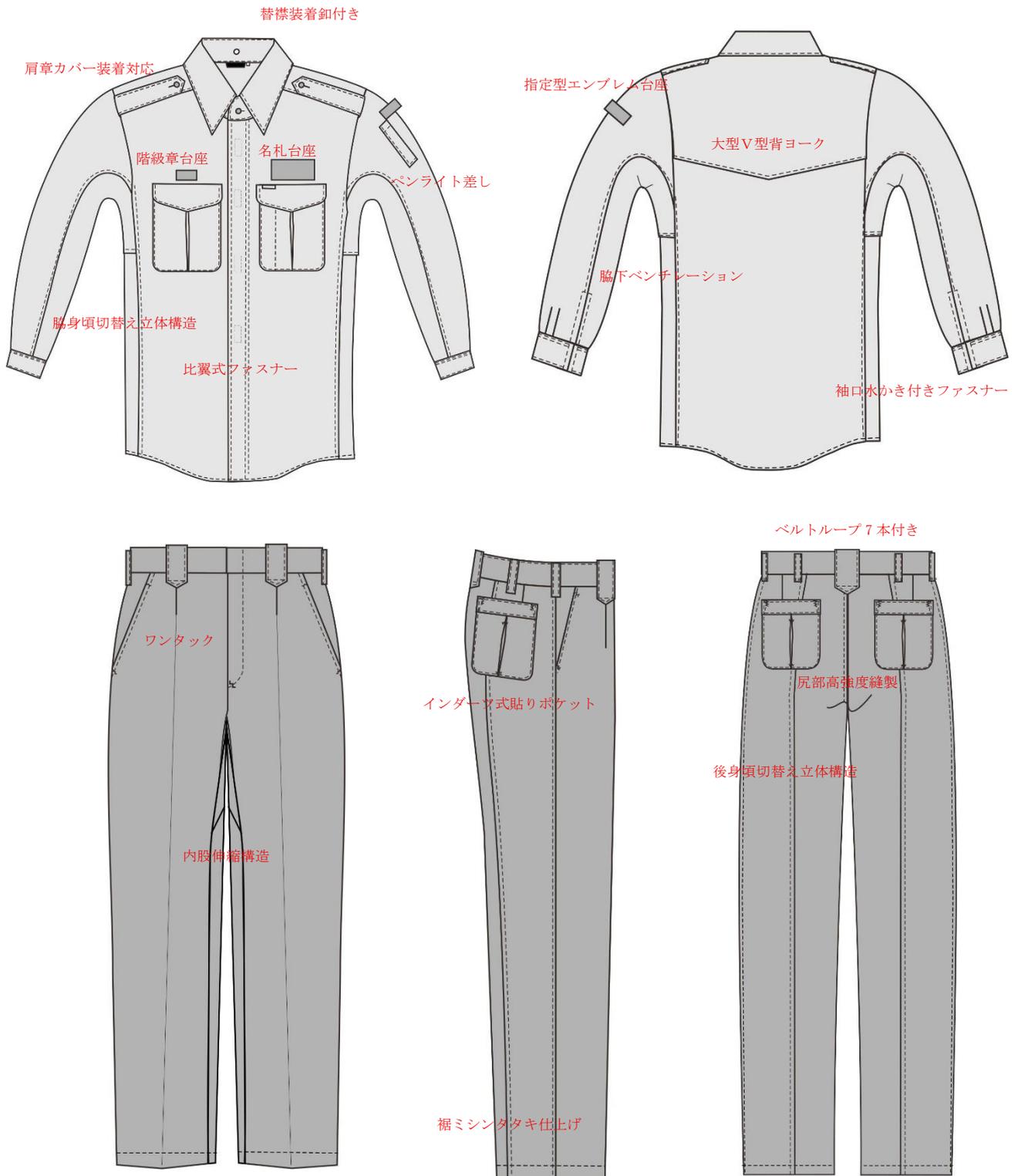
セ 天狗鼻

下前裏側に天狗鼻を装着する。

ソ 前立て合わせ

男女共通の左上前合わせとする。

5 参考仕様図面



6 サイズ規格表

救急服（長袖）上衣サイズ規格表

（出来上がり寸法 単位：cm）

	胸 囲	着 丈	肩 巾	長袖丈	カラー	袖口周囲
000号	95	72	42	53	40	20
00号	100	72	43	53	40	20
0号	105	72	44	54	40	21
1号	110	75	46	56	40	22
2号	115	78	48	58	41	23
3号	119	81	49	60	42	24
4号	119	75	49	55	43	24
5号	125	78	51	57	45	24
6号	129	81	53	59	46	25

※ 男女統一規格とする。

※ 袖丈：基本サイズ規格通りとするが±3 cm単位で調整可能とする（±6 cmまで）。

救急服下衣サイズ規格表

（出来上がり寸法 単位：cm）

部 位 サ イ ズ	ウ エ ス ト	ヒ ッ プ	股 下
	000号	64	97
00号	67	100	〃
0号	70	102	〃
1号	73	102	〃
2号	76	102	〃
3号	79	104	〃
4号	82	106	〃
5号	85	108	〃
6号	88	110	〃
7号	91	113	〃
8号	95	117	〃
9号	100	119	〃
10号	105	123	〃

※ 男女統一規格とする

※ 股下寸法については、採寸ゲージより±2 cm単位で調整対応とする。

## 7 生地規格

## (1) 上衣用素材

素 材	帝人株式会社 R 7 9 6 1 3 エスタミド®レーヨン混ピッケ
色 相	当局指定色
混 紡 率	メタ型アラミド 5 0 % パラ型アラミド 2 % ポリエステル 2 4 % 難燃レーヨン 2 4 %
番 手	タテ、ヨコ共 4 0 番手双糸 (E. C. C 換算)
組 織	ピッケ
仕 上	標準 1 5 0 c m X 5 0 m 乱 (幅は片耳落とし)
密 度	タテ 8 9 本以上 (2. 5 4 c m 間) ヨコ 6 2 本以上 (2. 5 4 c m 間)
引張強力	タテ 1 0 0 0 N 以上 (JIS L 1096 A 法) ヨコ 7 5 0 N 以上 (JIS L 1096 A 法)
引裂強力	タテ 4 0 N 以上 (JIS L 1096 D 法) ヨコ 3 5 N 以上 (JIS L 1096 D 法)
重 量	1 9 0 ± 1 5 g / m <sup>2</sup>
染色堅牢度	洗濯 (変) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法) (汚) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法) 汗変退色 4 級以上 (JIS L 0848 A 法) 摩擦 (乾) 4 級以上 (JIS L 0849 II 形法)
寸法変化率	タテ、ヨコ共 ± 3 % 以内 (JIS L 1096 G 法)
燃焼性	残炎時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法) 余じん時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法) 炭化距離 1 2 c m 以下 (JIS L 1091 A-4 法)
制菌性能	殺菌活性値 0. 0 以上 (S E K 統一試験 : 洗濯回数 5 0 回)
制電性	7 μ C 以下 (JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)

## (2) 下衣用素材

素 材	帝人株式会社 R 7 0 4 5 0 エスタミド®レーヨン混サキソニー
色 相	当局指定色
混 紡 率	メタ型アラミド 5 0 % パラ型アラミド 2 % ポリエステル 2 4 % 難燃レーヨン 2 4 %
番 手	タテ、ヨコ共 3 0 番手と 4 0 番手の交撚糸 (E. C. C 換算)
組 織	サキソニー
仕 上	標準 1 5 0 c m X 5 0 m 乱 (幅は片耳落とし)
密 度	タテ 7 5 本以上 (2. 5 4 c m 間) ヨコ 6 2 本以上 (2. 5 4 c m 間)
引張強力	タテ 1 0 0 0 N 以上 (JIS L 1096 A 法) ヨコ 8 0 0 N 以上 (JIS L 1096 A 法)
引裂強力	タテ 3 5 N 以上 (JIS L 1096 D 法) ヨコ 3 8 N 以上 (JIS L 1096 D 法)
重 量	2 1 0 ± 1 5 g / m <sup>2</sup>
染色堅牢度	洗濯 (変) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法) (汚) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法) 汗変退色 4 級以上 (JIS L 0848 A 法) 摩擦 (乾) 4 級以上 (JIS L 0849 II 形法)
寸法変化率	タテ、ヨコ共 ± 3 % 以内 (JIS L 1096 G 法)
燃焼性	残炎時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法) 余じん時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法) 炭化距離 1 2 c m 以下 (JIS L 1091 A-4 法)
制菌性能	殺菌活性値 0. 0 以上 (S E K 統一試験: 洗濯回数 5 0 回)
制電性	7 μ C 以下 (JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)

# 救急服替襟仕様書

この仕様書は、広島市消防局（以下「当局」という。）が発注する救急服替襟について定める。

## 総則

- 1 量産にかかる前に製作見本を当局に提出し、承認を受けること。その際、手直しが必要な場合は、指定日時までに手直しを行い、再度当局の承認を受けること。
- 2 当替襟の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- 3 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- 4 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また、仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- 5 製品の納入に際しては、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとに梱包すること。
- 6 納入業者は納入時に、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- 7 この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- 8 サイズについては、本仕様書に記載のサイズ表に基づいたものとする。
- 9 品名及び数量  
救急服替襟 468着  
※ 受注者は、契約後直ちに担当課（消防局職員課 Tel 082-546-3427 担当：隅田）からサイズ別数量及び個人名について指示に従うこと。

10 納入期限

令和8年2月20日(金)

11 納品場所 広島市消防局職員課ほか8署

- (1) 広島市消防局職員課(広島市中区大手町五丁目20番12号)
- (2) 中消防署警防課(広島市中区大手町五丁目20番12号)
- (3) 東消防署警防課(広島市東区光町二丁目12番6号)
- (4) 南消防署警防課(広島市南区的場町二丁目5番14号)
- (5) 西消防署警防課(広島市西区都町43番10号)
- (6) 安佐南消防署警防課(広島市安佐南区緑井一丁目10番3号)
- (7) 安佐北消防署警防課(広島市安佐北区可部南四丁目26番13号)
- (8) 安芸消防署警防課(安芸郡海田町堀川町3番12号)
- (9) 佐伯消防署警防課(広島市佐伯区五日市中央七丁目25番18号)

※ 落札業者は担当課と協議の上、納品に対応すること。

12 形式

台襟付き形状、釦ホール(ネムリ穴)5ヶ所付き、羽襟裏側ひっかけゴム付き、台襟部濃いグレー配色

13 使用素材

生地

- (1) 素材 : T1100 綿混ブロード
- (2) 混紡率 : ポリエステル 50%  
綿 50%
- (3) 組織 平織
- (4) 色相 : #350 クリーム(当局指定色)  
#22 濃いグレー(当局指定色)

14 縫製条件

(1) 針数

3cm間で地縫及び飾り縫いは12針程度、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。

(3) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

## 15 縫製要領

### (1) 主襟

襟巾は中央で約5.5cm、襟先巾は約7.5cmとする。

※ サイズにより変動有り

### (2) 台襟

台襟部には、配色生地を使用し、釦ホール(ネムリ穴)を5ヶ所設ける。釦ホールは約1.5cm巾とし、容易に着脱ができる仕様とする。

### (3) サイズ表示

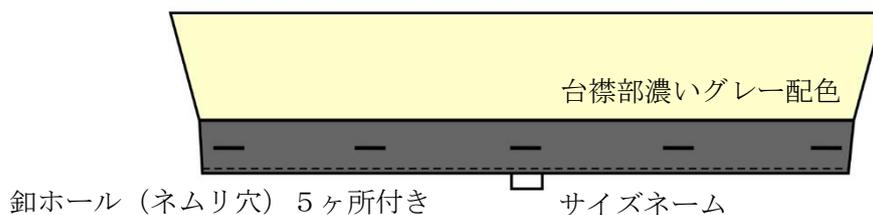
本体中央部の台襟下部に、挟み縫いをする。

### (4) ひっかけゴム

主襟左右先端部の裏側には、装着用にひっかけゴムを挟み縫いする。

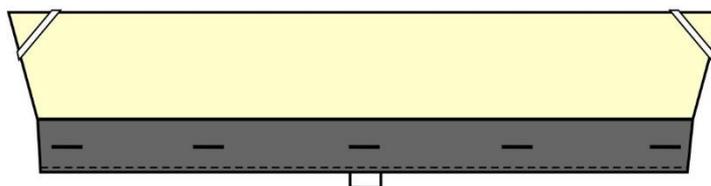
## 16 参考仕様図面

### 表面



### 裏面

ひっかけゴム付き



## 救急服替襟サイズ表

種 別	サ イ ズ 表					
替襟サイズ ※1	1号	2号	3号	4号	5号	6号
適合救急服サイズ ※2	000号~1号	2号	3号	4号	5号	6号
カラー（襟）寸法	40	41	42	43	45	46

※1 男女統一規格とする。

※2 別紙の救急服仕様書内に記載される上衣サイズ規格表のカラーサイズに適合するものとする。